

「奈良に幻のロープウェイ」奈良安全索道

令和2年(2021)12月10日放送

奈良安全索道大正11年(1922)～昭和27年(1952)

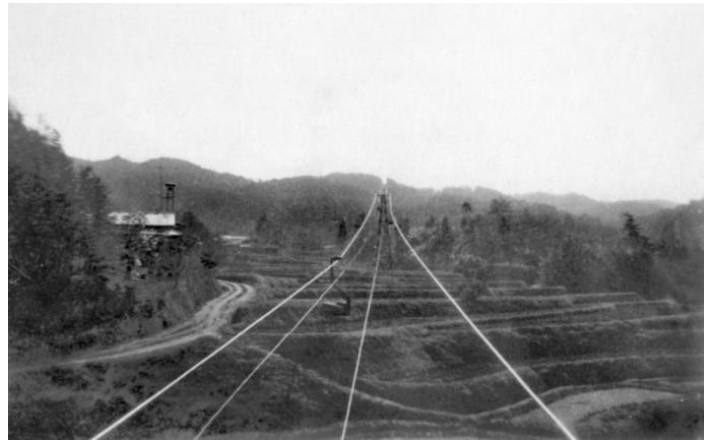
最近、新たに幻のロープウェイの痕跡を地元の研究家浦川温亮さんが発見した。

奈良安全索道は京終駅から小倉間約17km。山間部からいくつもの集落を突き切ってゴンドラが往復していた。

この辺の山間部で作られていた特産品の運搬用に造られた。この地域の大和高原は冬の気温が低く豆腐を一度凍らせて作る「凍り豆腐(高野豆腐)」生産に適していた。最盛期には約125軒の工場があった。京終からは車で運送していた。

しかし、その後、道路が整備され自動車が普及したことに加えて都市部の工場が人工の高野豆腐の生産を開始したため、次第に生産は下火になった。

奈良安全索道は開通から30年で昭和27年(1952)廃止した。



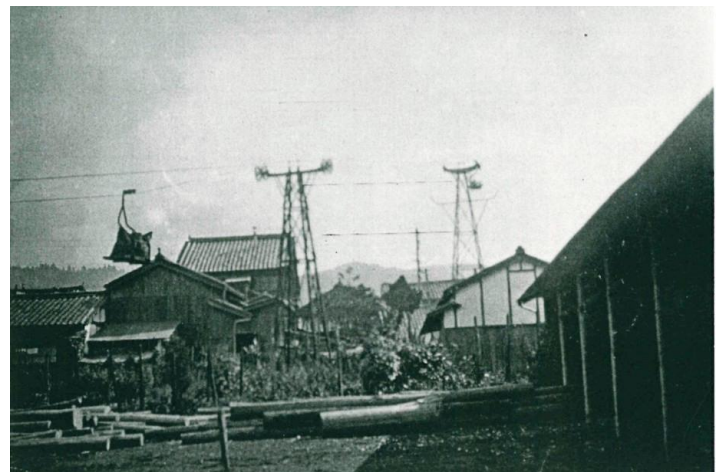
昭和18年頃 南田原の天満駅付近 搬器が見える
写真撮影：岩名健一氏



昭和18年頃 奈良安全索道 点検のため乗車
写真撮影：岩名健一氏



昭和25年 高野豆腐出し風景
写真提供：大和高原民俗資料館



昭和25年頃 安全索道終点 京終付近
写真：奈良史料保存館所蔵